

令和2年度決算について

1. 令和2年度 損益概要
2. 当期総利益 変動要因分析
3. 外部資金の状況（科研費含む受入額推移）
4. その他の財務諸表概要
5. その他トピックス

1. 令和2年度 損益概要

(百万円)	2019年度	2020年度	増減
経常費用	18,052	18,665	613
経常収益	18,385	18,857	471
経常利益	333	191	△141
純利益	331	187	△144
目的積立金取崩額	16	13	△2
当期総利益	348	200	△147
目的積立金申請予定額 (括弧内は円単位表記)	348 (348,059,674円)	200 (200,895,708円)	△147

単位未満切り捨て表記のため端数が一致しない場合があります。

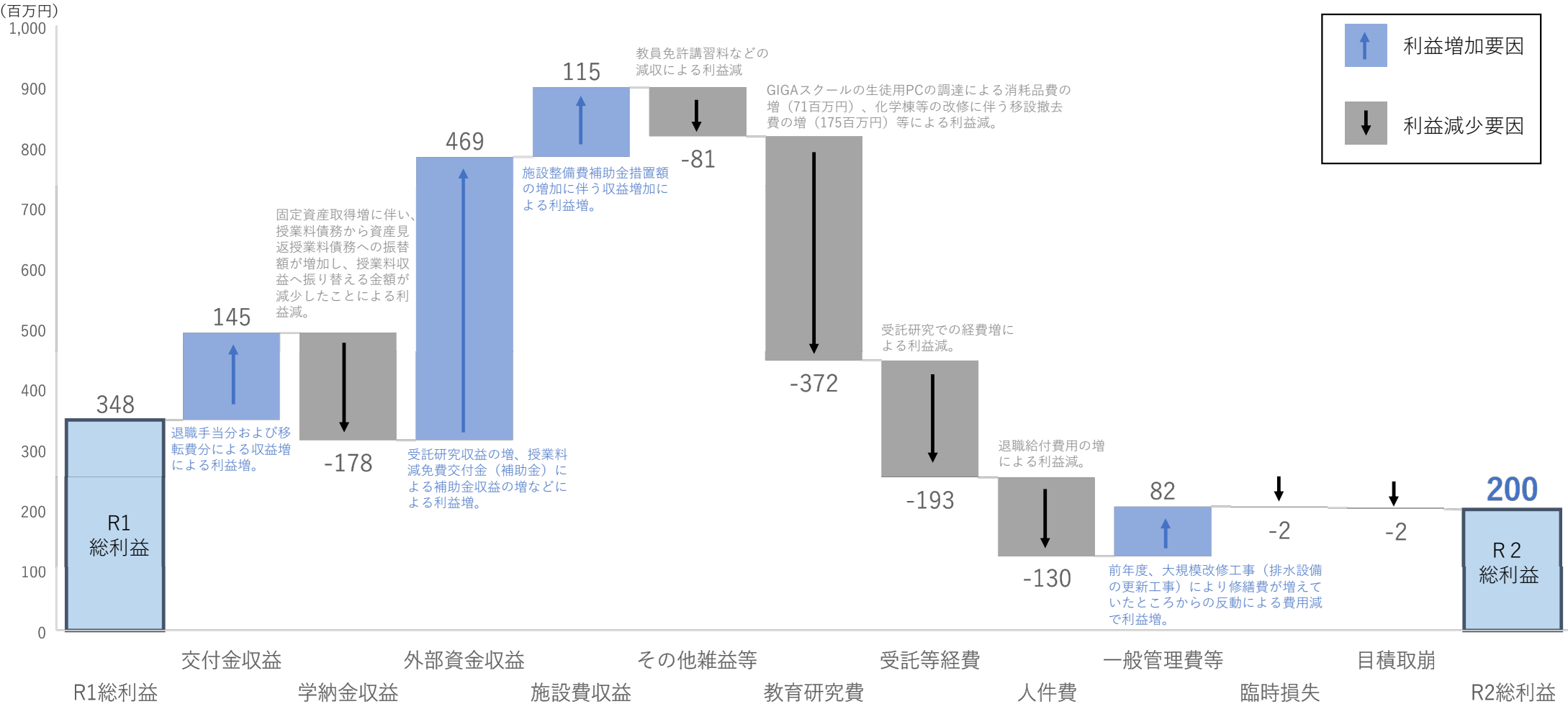
損益計算書 概要 (百万円)			
科目	2019	2020	増減
教育研究費	3,552	3,924	372
受託・共同等経費	2,211	2,405	193
人件費	11,249	11,379	130
一般管理費等	1,038	956	△82
経常費用 計	18,052	18,665	613
運営費交付金収益	8,198	8,344	145
学生納付金収益	5,764	5,586	△178
外部資金収益 (※)	2,828	3,297	469
施設費収益	338	454	115
その他雑益等	1,255	1,174	△81
経常収益 計	18,385	18,857	471
経常利益	333	191	△141
臨時損益	△1	△4	△2
当期純利益	331	187	△144
目的積立金取崩額	16	13	△2
当期総利益	348	200	△147

単位未満切り捨て表記のため端数が一致しない場合があります。

※「外部資金収益」は受託研究、共同研究、受託事業、共同事業、寄附金、補助金の各収益を合計したものです。なお、科研費は損益計算書には計上されません。

2. 当期総利益 変動要因分析

前ページの「損益計算書 概要」の「増減」より作成。

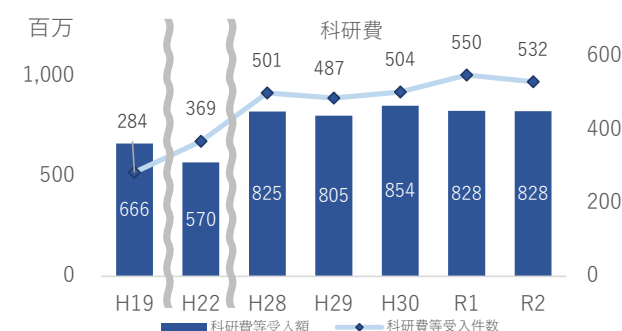
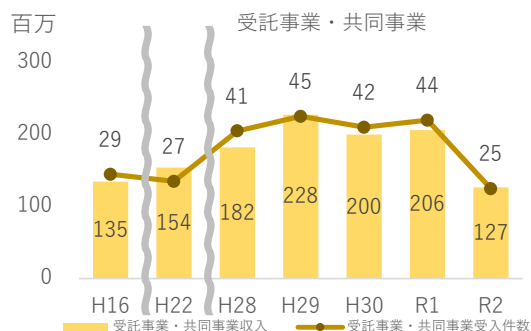
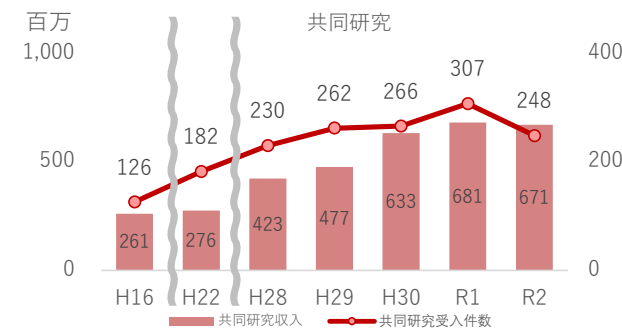
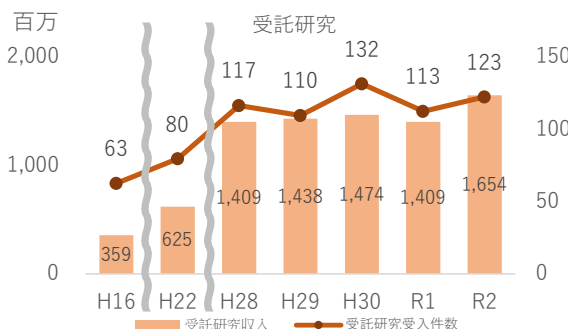
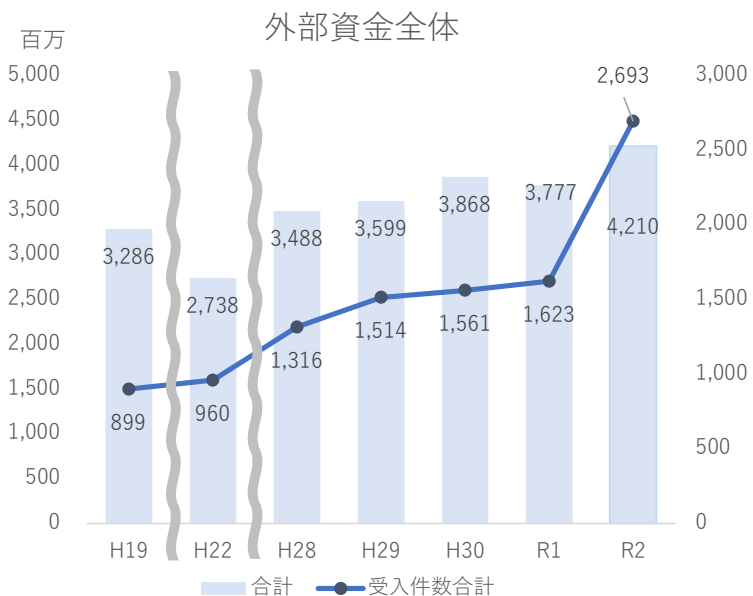
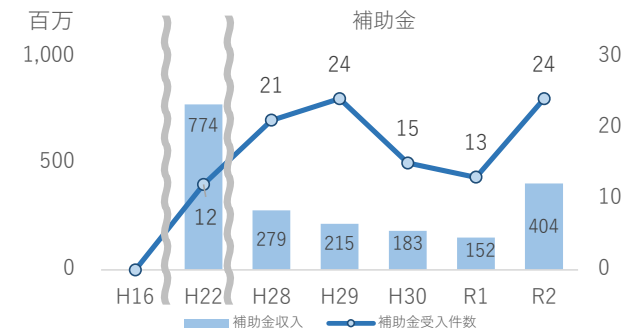
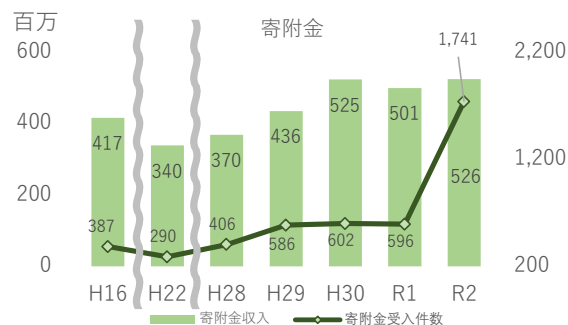


3. 外部資金の状況（科研費含む受入額推移）

財務諸表の附属明細書等において開示している各種外部資金の受入額と受入件数を、過去からの推移とともにグラフ化しています（受入額または受入件数を附属明細書において開示していない資金については、学内資料からの集計によります）。

コロナ対策のために呼び掛けた緊急学生支援寄附の受入件数が大幅に伸びたことで、外部資金全体の受入件数が大きく伸びました。

受託研究と補助金の受入金額が増加し、外部資金全体の受入額も増加しました。



※この「外部資金全体」のグラフは科研費も含めた集計で、集計のベースそのものが「受入額」であり、前ページまでの「外部資金収益」とは一致しません。

4. その他の財務諸表概要

貸借対照表 概要

(百万円)

借方	R1	R2	増減	貸方	R1	R2	増減
有形 固定資産	104,391	104,757	366 ※ 1	固定負債	14,681	14,046	△634 ※ 3
無形 固定資産	229	232	2	流動負債	4,898	6,180	1,282 ※ 4
投資、 その他の 資産	1,204	1,208	4	負債の部 合計	19,579	20,227	648
固定資産 計	105,825	106,199	373	資本金	97,453	97,453	-
流動資産	3,658	5,120	1,462 ※ 2	資本 剰余金	△8,232	△7,138	1,093 ※ 5
資産の部 合計	109,484	111,320	1,835	利益 剰余金	683	776	93
				純資産 合計	89,905	91,092	1,186

※ 1 有形固定資産の増加について
化学棟などの大規模改修工事等の竣工に
より有形固定資産が増加しました。

※ 2 流動資産の増加について
大規模改修工事等の支払いのための施設
整備費補助金により普通預金が増加しま
した。

※ 3 固定負債の減少について
大規模改修工事等のために、前期末に計
上していた建設仮勘定見返施設費が、工
事竣工に伴い資本剰余金へ振り替えられ
たことにより、固定負債が減少しました。

※ 4 流動負債の増加について
大規模改修工事等の完成払分支払いのた
めの未払金により、流動負債が増加しま
した。

※ 5 資本剰余金の増加について
大規模改修工事等の竣工に伴い、取得し
た資産と同額が、政府預り施設費（負
債）および建設仮勘定見返施設費（負
債）から、資本剰余金へ振り替わったこ
とにより、資本剰余金が増加しました。

キャッシュフロー（CF）計算書 概要

(百万円)

区分	R1	R2	増減
業務活動CF	1,162	1,255	92
投資活動CF	△469	125	595 ※ 6
財務活動CF	△131	△127	4
資金 増加額	561	1,253	691
資金 期首残高	2,312	2,874	561
資金 期末残高	2,874	4,127	1,253

※ 6 投資活動CFの収入増加について
大規模改修工事等のための施設費による収入が増え、投資活動による
キャッシュフローの収入増加となりました。

5. その他トピックス

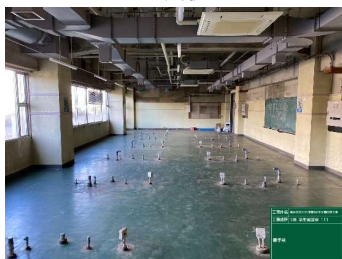
大規模改修工事の竣工

施設整備費補助金を主たる財源とした、大規模改修工事が多数竣工し、有形固定資産が増加しました。

- ・工学基礎棟（204百万円）
 - ・化学棟（1,088百万円）
 - ・附属横浜中学校武道場（132百万円）
 - ・排水浄化センター（204百万円）
 - ・特高压受変電設備（472百万円）
- ほか

括弧内の数値は施設整備費補助金による、建物などの資産取得額です

（改修前）化学棟
111実験室



（改修後）化学棟
111実験室



（新営）附属横浜中学校武道場



武道場 建物外観



武道場



武道場ホール

COVID-19（新型コロナウイルス）感染症の影響、対策

新型コロナウイルス感染症の世界的なまん延により、大学の活動にも制約等が生じて一部の損益等にも影響がありました。また、影響を受けるばかりでなく、様々な対策も実施しており、この結果も財務諸表に現れています。

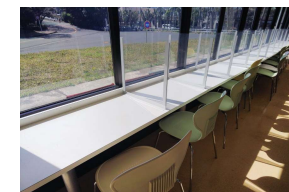
- ・出張機会の縮小による旅費の減少（△377百万円）
 - ・燃油調整費のマイナス調整ならびに使用量の減少による光熱水費の減少（△78百万円）
 - ・教員免許状更新講習受講の延期等による講習料収入の減少（△22百万円）
 - ・学校保健特別対策事業費補助金による附属学校の補助金収益の増（+24百万円）
 - ・YNU E-SSUP（Emergency Study Support Package）事業での学生への奨学金支給（69百万円費用計上）
 - ・国大基金「緊急学生支援」への寄附受入（1,000件以上、合計56百万円の寄附受入）
- その他、食堂の座席への飛沫防止パネルの設置や、建物出入り口への検温器等設置など



「緊急学生支援寄附金」への寄附のお願い



本部棟入口の検温器と消毒液



食堂座席に飛沫防止パネルを設置

受託研究収益の増加

総務省、（国研）科学技術振興機構（JST）、（国研）新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）、（独法）環境再生保全機構、（国研）日本医療研究開発機構（AMED）などから受託した大型の受託研究契約が牽引し、受託研究収益が前年度と比べて253百万円増加しています。